

令和4年1月31日

保護者 様

授業アンケート実施結果について（御報告）

山口県立徳山高等学校  
校長 徳田 充

平素から本校教育の推進に御理解と御協力を賜り、感謝申し上げます。

さて、本校では、昨年度末に、1人1台タブレット端末の貸与、全教室のプロジェクター設置等の環境整備が行われたことから、すべての教科においてICTを活用した探究型学習をめざす授業研究と実践に取り組んでいるところです。

こうした中、11月10日（水）に実施した公開授業では、授業を見られた方から「あまり得意でない子が質問し、わかっている子が教える時間があるだけでも互いにメリットがあるようだ」「タブレットも上手く取り入れていてよい」「皆がとても真剣に授業を受けていることがよくわかった」といった肯定的な御感想や御意見とともに、「机が小さくてタブレットを置くと狭そうだ」「リアルタイム配信もあるとうれしい」といった御感想や御要望をいただきました。今後も引き続き、各教科において、生徒の主体的な学びを醸成し、学習意欲の一層の向上と学習内容の確実な定着を図るとともに、環境整備も行えるよう取り組んでまいります。

下記は、今年度の取組を検証するために、昨年12月に実施した、授業アンケートの集計結果です。御一読くださいますようお願いいたします。なお、アンケートの形式は昨年度までと同じことから、経年比較をしています。

記

1 集計結果

(1) 質問項目

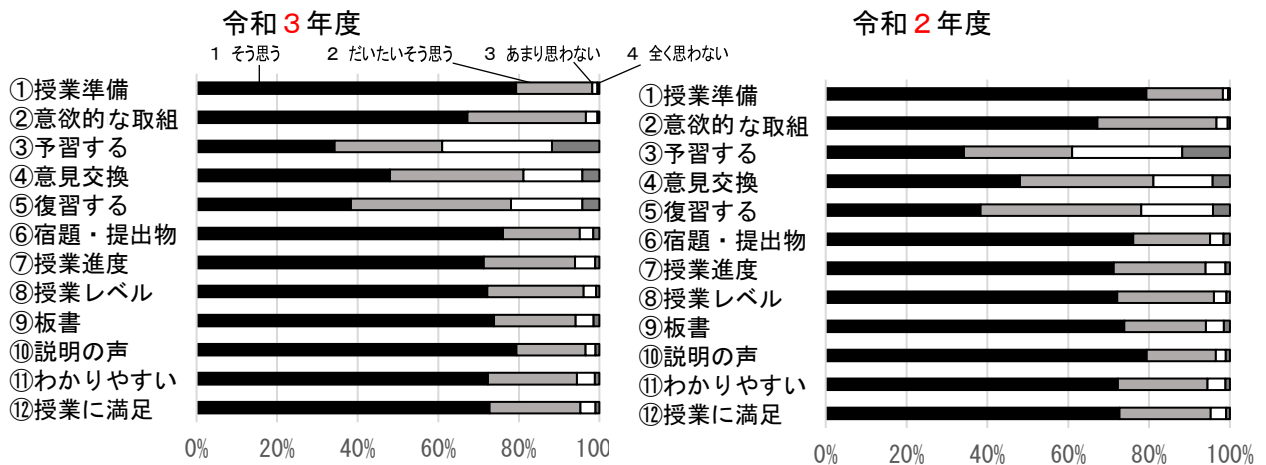
生徒の自己評価	授業内容の評価
①授業が始まる前に準備を済ませている	⑦授業全体の進度はちょうどよい
②授業には意欲的に取り組んでいる	⑧授業内容のレベルはちょうどよい
③授業の予習はしっかりやっている	⑨板書はわかりやすい
④先生の質問に対して友人と積極的に意見を交換したり発表したりしている	⑩説明する声は聞きやすい
⑤授業の復習はしっかりやっている	⑪授業はわかりやすい
⑥宿題や提出物をきちんとやっている	⑫この授業を受けて満足している

(2) 回答方法

「1：そう思う 2：だいたいそう思う 3：あまり思わない 4：全く思わない」から選択

### (3) 集計結果

国語・地歴公民・数学・理科・英語の5教科について、全校生徒の結果を集計し割合で表したグラフを下に示します。



## 2 結果の分析

### (1) 生徒の自己評価について（質問項目①～⑥）

アンケート結果は、昨年度とほぼ同じ傾向を示しています。肯定的回答（そう思う、だいたい思う）の割合から見ると、ほとんど全員が授業にはきちんと準備をして臨み（①99%）、授業には意欲的に取り組んでおり（②98%）、宿題や提出物にもきちんと取り組んでいる（⑥97%）といった状況です。また、積極的な意見交換や発表の取組にも熱心（④81%）、主体的に学習に取り組んでいるということになります。なお、教科・科目により差があるものの、全体として予習（③67%）よりも復習（⑤82%）を重視し、日々の学習内容の定着に力を入れているようです。

### (2) 授業内容の評価について（質問項目⑦～⑫）

昨年度に引き続き、いずれも非常に高い割合で肯定的回答が得られました。教室へのプロジェクターの設置やタブレット端末といったICT機器の導入により、授業における教材の提示や課題の配布が変わり、これまで以上に授業改善に取り組んだことが評価してもらえたのではないかと考えています。今後も、授業改善のための工夫を継続してまいります。

なお、体育・芸術・家庭・情報の4教科については、紙面の都合でグラフの掲載は割愛しますが、ほとんどの項目で5教科同様に肯定的な結果を得ています（予習③、復習⑤の項は除く）。

## 3 今後の取組

授業やその他の学習活動において生徒が対話や発表を通じて自身の考えを客観的に整理・修正・深化させていくことにより、「主体的・対話的で深い学び」を実現することができます。そのため、グループワークやディスカッションの手法の積極的導入や発問の工夫、ICT機器の効果的な活用により、生徒が理解を深め、自由に発言できる雰囲気や環境づくりを今後も推進していきます。

まだまだ先の見通せないコロナ禍の中、タブレットを有効活用した双方向の活動が一層進むよう取り組んでまいりますので、引き続き保護者の皆様の御理解、御協力をよろしく申し上げます。